

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年月日

事業所名：晴学館

職員数：4

回答数：4

回収率：100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じた環境になっているか。	○		療育、遊び、学習の空間に分けている。 教材の配置やスケジュール提示を工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた環境になっているか。	○		毎日、清掃消毒作業を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標）	○		気付きは日々のコミュニケーションの中で上司に伝え改善策が検討されている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	不明な点は熊本市に確認し指導をいただいている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を	○		各自の研修会参加、伝達講習、合同勉強会、研修会案内を行っている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童登	○		評価・療育経過・保護者面談をもとに計画書を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化	○		発達検査、知能検査を実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ケース会議の中で共有している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		前年度の内容と比較し、活動内容を工夫している。 季節の行事に合わせて毎月計画を立案してい	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その	○		特性や年齢、下校時間によって工夫している。	
	⑰	日行われる支援の内容や役割分担について確	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた	○		気付いたことを話し合っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支	○			
関係機関や保護者と	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい	○		児発管だけでなく担当職員も参加する等している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	非該当			
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	非該当			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートの作成・会議への参加を実施している。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートの作成・会議への参加を実施している。	

の連携	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保育所等に所属しているご利用様がほとんどであるため実施していない。今後は、秋祭りへの参加呼びかけなどを検討する。
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を	○			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トトレ	○		決まったトレーニングツールは使用していないが、相談に対する助言を行っている	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これ	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行	○			
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援し	○			
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護	○			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを配信している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に関する確認書を作成している	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情	○			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		感染症リスクを下げるため未実施。今後は実施に向けて検討する。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周	○			
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ	○		事前に保護者様よりお聞きし、注意事項をまとめている。	予防接種の状況を今後確認していく。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指	○			
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットレベルごとの報告を行い、日々の確認と、合同勉強会での検討会を実施している	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		併用事業所との合同勉強会にて実施している。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかに	○			
		ついて、組織的に決定し、子どもや保護者に事				